

高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」平成30年度末の現況と事業効果について

1. 現況

1) 制度概要

○本市にお住いの65歳以上の方を対象に、専用のバスICカード「シニア半わりりゅーと」や紙券「シルバーチケット」でバス運賃を精算することにより、運賃が半額となる高齢者おでかけ促進事業を平成28年9月から実施

2) 目的

○超高齢社会が進展するなか、高齢者のバス利用によるおでかけの促進と健康寿命の延伸、医療費の抑制などを目的に、市内在住の65歳以上の高齢者を対象にバス運賃を半額とするもの

3) 事業費

事業費の推移（決算額）

年度	事業費
平成28年度	14,509万円
平成29年度	25,591万円
平成30年度	25,889万円

4) 参加状況

○本市の65歳以上人口に占めるシニア半わり参加者数の割合は16.7%

65歳以上人口に占めるシニア半わり参加者数の割合（参加率）

	参加者数(A)	65歳以上人口(B)	参加率(A/B)
1年目（H29.8月末）	33,624人	224,367人	15.0%
2年目（H30.8月末）	36,984人	227,448人	16.3%
3年目（H31.3月末）	38,300人	228,858人	16.7%

5) 利用状況

○1人あたりの乗車回数は、1年目と比較すると、0.3乗車増加している（H28とH30の10月を比較） ※シルバーチケット利用者は含まれない。

シニア半わり利用者1人あたりの乗車回数

	実利用者数(A)	乗車回数(B)	1人あたりの乗車回数(A/B)
1年目（H28.10月）	18,924人	174,602乗車	9.2乗車
2年目（H29.10月）	23,183人	221,677乗車	9.6乗車
3年目（H30.10月）	25,649人	244,616乗車	9.5乗車

※シルバーチケット利用者は含まれない。

2. 事業効果【アンケート調査より】

1) アンケート調査概要

■調査目的：シニア半わりの参加者と、シニア半わりに参加していない65歳以上の市民に（非参加者）に対して、健康寿命の延伸などに関してアンケート調査を実施し、事業効果を検証する。

■調査期間：平成30年12月21日～平成31年1月6日まで

■調査方法：郵送配布、郵送回収

■調査対象者：参加者は平成30年8月末時点のシニア半わり参加者名簿から、非参加者は平成30年8月末時点の住民基本台帳から無作為抽出

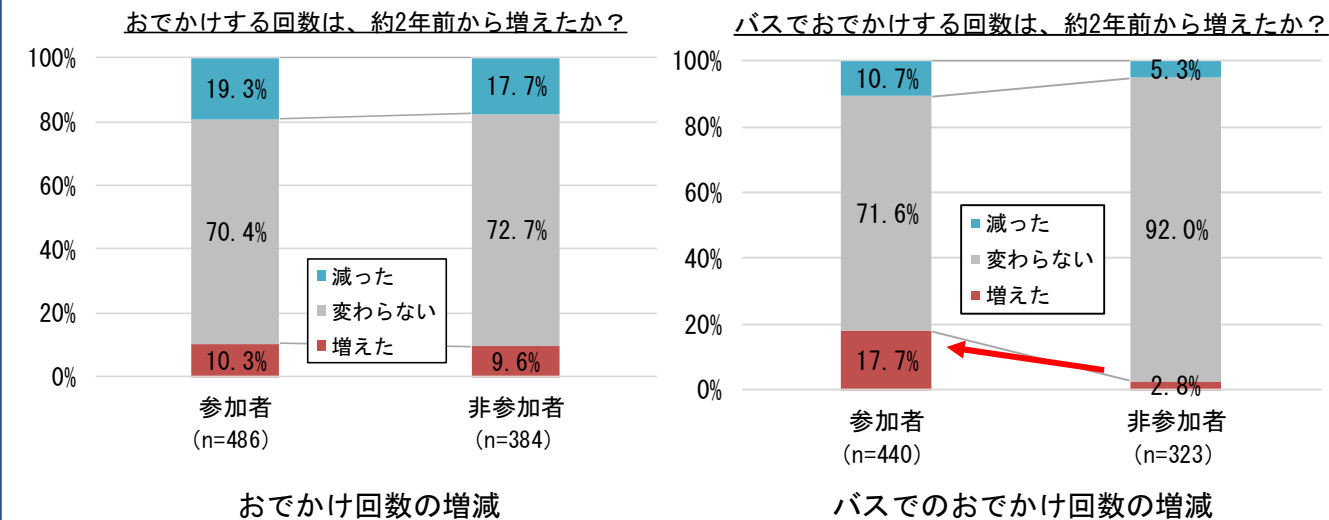
配布・回答の状況

参加区分	配布数（抽出数）	回答数	回答率
参加者	約800人	約600人	約75%
非参加者	約1,200人	約600人	約50%
合計	約2,000人	約1,200人	約60%

2) アンケート調査結果

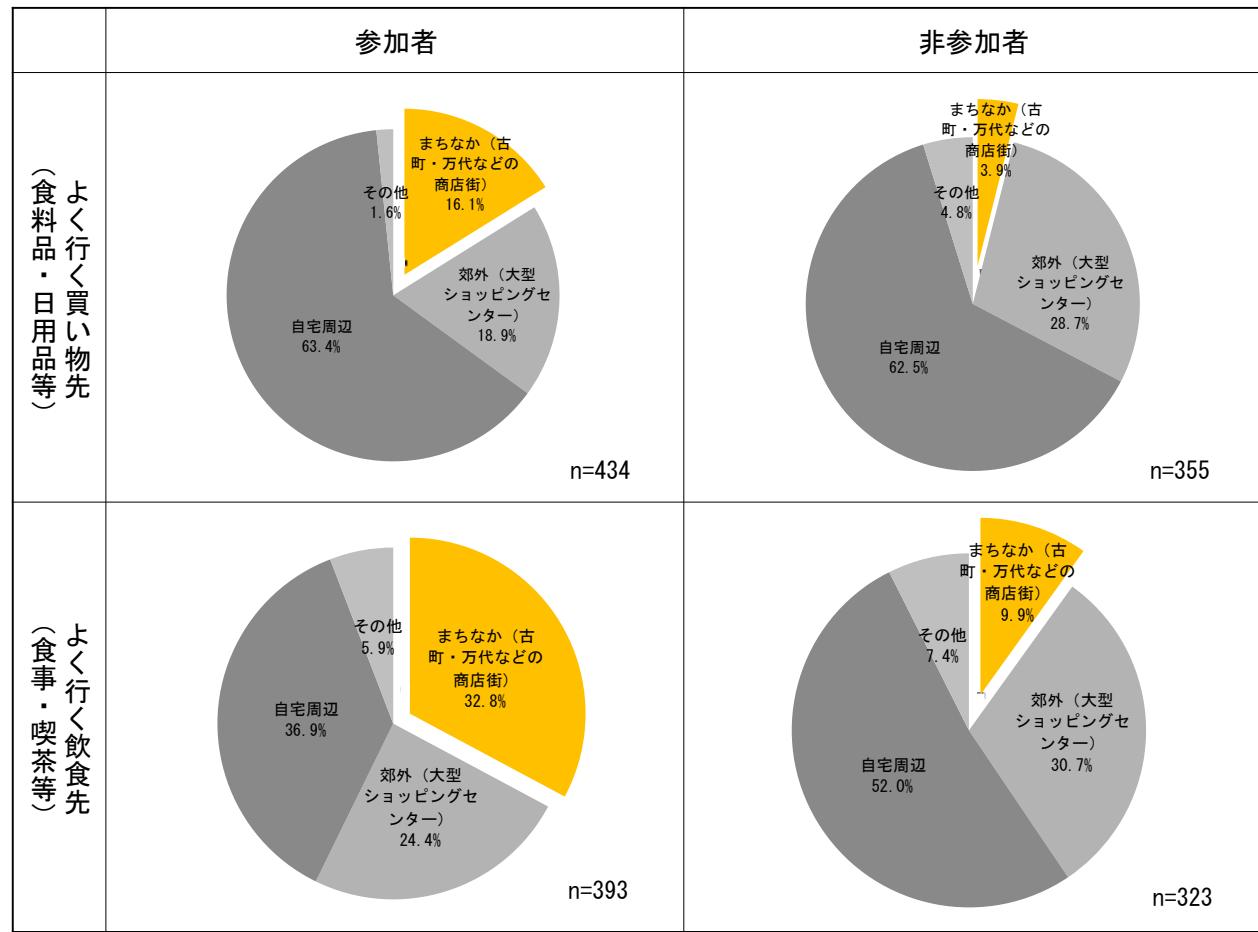
① おでかけ回数の増加（参加者・非参加者）

○参加者と非参加者ともに、おでかけ回数が増えた割合よりも減った割合の方が多い。
○バスでのおでかけについては、参加者が非参加者に比べて回数が増えた人の割合が多い。



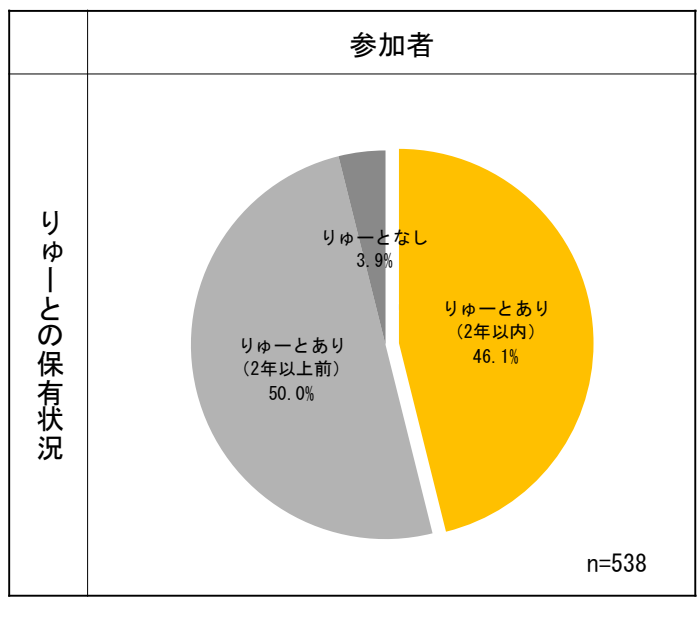
② 買い物・飲食先の傾向（参加者・非参加者）

○参加者は非参加者に比べて、まちなか（古町・万代などの商店街）で消費活動をする割合が多い。



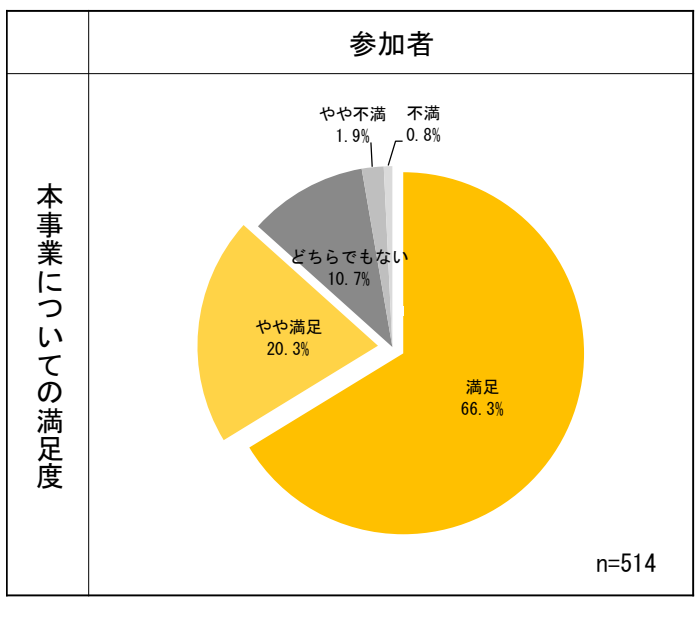
④ ICカードの普及（参加者）

○参加者の約半数がシニア半わり開始後にはじめてりゅーとを保有しており、ICカードの普及のきっかけになっている。



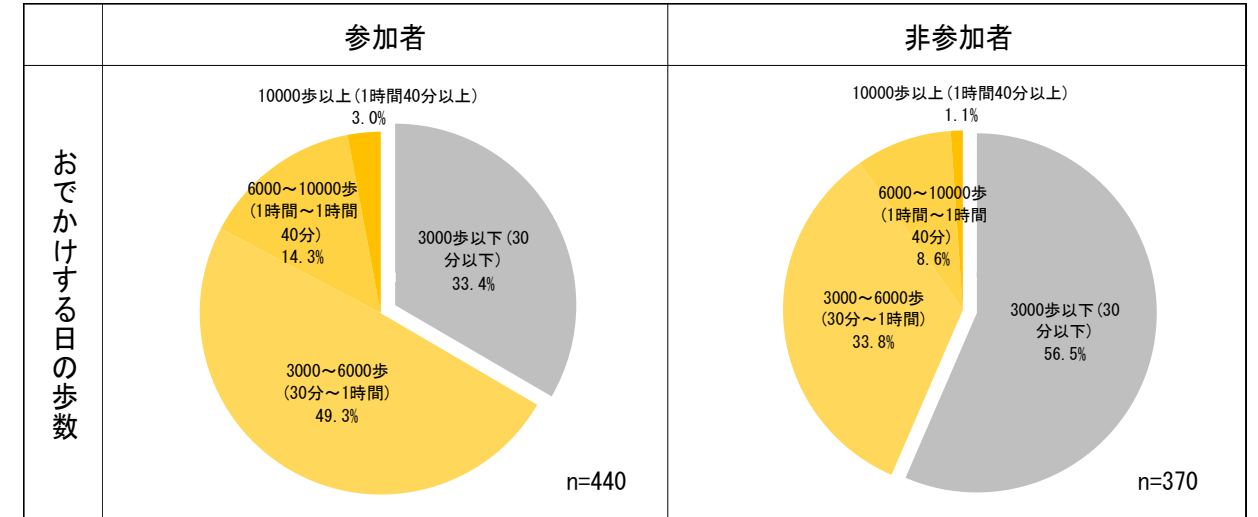
⑤ 本事業についての満足度（参加者）

○参加者の約87%が満足またはやや満足と回答している。



③ おでかけする日の歩数（参加者・非参加者）

○参加者は非参加者に比べて、おでかけで多く歩く傾向にある。



⑥ 生活での変化（参加者）

○参加者のうち、健康については約99%、生きがいや気力については約97%の方がよくなった・変わらない（維持している）と回答している。

シニア半わりを利用することによる生活での変化

回答	■健康は		■生きがいや気力は	
	回答数	比率	回答数	比率
よくなった	126	24.2%	118	22.8%
変わらない	387	74.3%	384	74.3%
わるくなった	8	1.5%	15	2.9%
合計	521	100%	517	100%

【まとめ】

○シニア半わりは参加者数、乗車回数ともに増加傾向にあり、事業の目的である高齢者のバス利用による「おでかけ回数の増加」に寄与していることがわかった。
 ○また、「まちなかへのおでかけ」や「おでかけする日の歩数」などが健康や生きがいの維持・向上に貢献していると考えられる。